



熊本YMCA学院 日本語科卒業生
 株式会社鶴屋百貨店
 チョウ シ ラン
 張 曦冉 さん

熊本で輝く、未来への道

優しさに支えられ、難関試験に合格

頑張り屋の張さんを支えたのは周囲の人々の優しさでした。母親や友人から2016年の熊本地震の時に、熊本の人々が互いに助け合っていた様子を聞いたといいます。「都会とは違う、人と人との距離の近さが私には合っていたんです」。片言でのアルバイト探しも無事に決まります。アルバイト中は大変だったのでは?と尋ねると「きつくはありませんでした」ときっぱり。「お店のオーナーがとても優しく、私が日本語を話せないと分かってもらって雇ってくれた。『自分ではできる。がんばるんだ』と思えたんです」。

コロナ禍による入国制限の為、同級生は10名程度。様々な制限のある中で、の学生生活でしたが「学校の先生たちは熱心に指導してくれました」と張さん。在学中の一番の思い出は阿蘇での田植え体験だと話します。中国の都会で育った張さんにとっては、田んぼに入って足が泥だらけになるのも新鮮な経験。阿蘇にあるYMCAの保育園の子どもたちとも交流し「秋の収穫では田植えの成果を感じられて嬉しかった」と思い出を語ってくれました。

2年間の学生生活で日本人との交流やアルバイトの経験、そして日々の学習を重ね、張さんは日本語能力試験の最上級であり平均合格率が約30%という「N1」に合格。中国語、英語、日本語を操るトリリンガルになりました。



コロナ禍に来日。焦りが募った日本語学習

「募集していますか?」。2021年の春、張曦冉さんは、覚えてばかりのその日本語だけを頼りにコンビニエンスストアに飛び込み、アルバイトを探していました。「日本語がほとんど話せず、髪もピンク色でしたから、変な人と思われたかもしれませんね」と微笑む張さん。しかし、そのわずか2年後に張さんは鶴屋百貨店の社員になっていたのです。

張さんは、現在、鶴屋百貨店で訪日外国人を対象とした外国人用サービスカウンターでの接客をメインに、時には他部門のサポートもこなしています。彼女が熊本YMCA学院の日本語科に入学したのはコロナ禍だった2021年4月のことです。中国出身でアメリカの大学を卒業。アパレル関係の仕事をしていたという張さんですが、次第に日本で生活したいと考えるように。「母が熊本で暮らしているので遊びに来たことがあり、日本の文化にふれる機会がありました。日本で学ぶチャンスがあればと願っていたんです」。

来日した当時、張さんの日本語の知識はほぼゼロでした。「『おはようございます』くらいしか話せませんでした。数カ月間はきつかった」。次第に聞き取りが出来るようになって、話そうとすると上手いはず、「どうして言葉が出てこないのか」と焦りが募ったといいます。しかし、張さんはここで持ち前の負けん気を発揮します。「自宅で自分の声を録音して何度も練習しました。嫌になることはなかった。成長した自分の姿を早く見たいと思っていました」。

全てのお客様に最高の接客を

2023年3月に熊本YMCA学院を卒業した張さんは鶴屋百貨店に就職。新型コロナウイルスが落ち着きを見せ、訪日客の対応をする人材が求められていたタイミングでした。「学生の頃、店員の皆さんの上品な接客を見て、すごいな、美しいなと思っていました」とあこがれの職場で働く喜びを語る張さんですが、時には日本と中国の文化の違いを感じることもあったそうです。「例えば日本人は本当は嫌だと思っていなくても、それを表に出さないことが多いですよ。でも中国人は物事の伝え方がストレートなんです」。自分の率直な物言いが、日本人の同僚たちを戸惑わせることもあったと言います。「でも最近は、海外からのお客様のストレートな言葉に私の方が驚くことも。日本の文化に慣れてきたのでしょうか。何年か経つと『日本人っぽい張さん』になりそうですね」と笑います。

現在、張さんはリテールマーケティング(販売士)検定試験を受験するために勉強をしています。「せっかく百貨店に就職したのだから外国人、日本人に関係なく全てのお客様によりよい接客をできるようになりたい」とまっすぐな目で意気込みを語りました。

コロナ禍に留学が叶ったことも、鶴屋百貨店に就職できたことも「タイミングが良かった。私はツイていた」と話す張さん。しかし、彼女の強い意志とたゆまぬ努力こそが、自身の未来を切り開いているのでしょう。

Pickup

むさしグローバルコミュニティセンター
 ALLおたのしみデイキャンプ



YMCAフィランソロピー協会 企業交流会



東部グローバルコミュニティプラザ
 夏休みプログラミングスクール

Information 行こう 見よう 深めよう

みんなの力で世界を変えよう! YMCA祭



チャリティ
×
楽しむ

今年も楽しみながらチャリティに参加できるYMCA祭を開催します。益金は年末募金、国際協力活動、地域活動などに用いられます。ぜひご来場ください。

	会場	日時	主な内容(予定)
熊本五福幼稚園 わいわい夏まつり ☎ Tel 096-352-2981	YMCA熊本五福幼稚園 (熊本市中央区魚屋町)	8月23日(金) 16:30~19:30	食バザー・ゲーム・光るグッズ販売・チャリティーバザーなど
第36回ながみね祭 ☎ Tel 096-353-6391(音声ガイダンス「3」)	ながみねファミリーセンター (熊本市東区長嶺南)	9月21日(土) 10:00~15:00	ステージ、キッチンカーを含む食バザー、ゲームコーナー、のみの市など
第21回サザンフェスタ ☎ Tel 096-353-6391(音声ガイダンス「2」)	みなみグローバルコミュニティセンター (熊本市南区田迎)	9月22日(日) 11:00~15:00	キッチンカー、ステージ発表、ゲームコーナー、のみの市
むさしチャリティデイキャンプ ☎ Tel 096-353-6391(音声ガイダンス「4」) ※要申込み	集合解散／むさしグローバルコミュニティセンター (合志市幾久富) 活動場所／YMCA阿蘇キャンプ (阿蘇市車帰)	9月22日(日) 9:00~17:00	デイキャンプ (野外活動、野外調理)
東部わいわい祭 ☎ Tel 096-382-6661	東部グローバルコミュニティプラザ (熊本市中央区帯山)	10月14日(月・祝) 10:00~15:00	ハロウィンフェスティバル
第56回前進祭 ☎ Tel 096-353-6391(音声ガイダンス「1」)	本館／グローバルコミュニティセンター (熊本市中央区段山本町)	11月3日(日・祝)	キッチンカー、YMCA学院生・留学生などによるパフォーマンス、出店など
阿蘇まつり ☎ Tel 0967-34-0402	YMCA黒川保育園 (阿蘇市黒川1708-1)	11月9日(土) 10:00~14:00	尾ヶ石・永草・黒川・赤水の4保育園のお祭り。キッチンカー・のみの市など

※チャリティデイキャンプの集合解散、阿蘇まつりをのぞくプログラムにご来場の際は公共交通機関をご利用ください。※各プログラムの時間はお問い合わせください。

見学会・見学説明会を開催 YMCA幼稚園・幼児園2025年度園児募集

熊本YMCAがキリスト教の教えに基づき、キリスト教保育を基盤として運営する幼稚園、幼児園が10月1日から入園申込受付をスタートします。それに先立って、見学会・見学説明会を開催します。



保育
×
見学

YMCA水前寺幼稚園・YMCA熊本五福幼稚園

[園の特徴] 「精神」・「知性」・「身体」のバランスのとれた全人的成長と自主性、協調性、創造性などの育成を目指します。

YMCA水前寺幼稚園

[見学説明会日程]

- ①8月19日(月) 9:30~11:00
- ②9月 9日(月) 10:00~11:30
- ③9月13日(金) 10:00~11:30
- ④9月19日(木) 10:00~11:30

☎ YMCA水前寺幼稚園

(熊本市中央区出水3-12-1)

☎ Tel 096-362-4141

お申込みはWebで▶



YMCA熊本五福幼稚園

[見学説明会日程]

- ①9月 4日(水) 9:30~11:00
- ②9月10日(火) 9:30~11:00
- ③9月20日(金) 9:30~11:00
- ④9月25日(水) 9:30~11:00

☎ YMCA熊本五福幼稚園

(熊本市中央区魚屋町1-9)

☎ Tel 096-352-2981

お申込みはWebで▶



YMCAぶどうの木体育英語幼児園

[園の特徴] 体育・英語・制作・音楽など質の高い教育プログラム。長い歴史の中で培ったYMCA保育が一人ひとりの可能性をひきだします。

[見学会日程]

- ①8月27日(火) 9:30~11:00
- ②8月30日(金) 10:00~11:30
- ③9月 4日(水) 10:00~11:30

※見学会は、火曜は体操、水曜は水泳、金曜は英語クラスの様子をご見学いただけます。

☎ YMCAぶどうの木体育英語幼児園(熊本市南区田迎5-12-50 みなみグローバルコミュニティセンター内)

お申込みはWebで▶



Your voice, your style オンライン30分英会話レッスン開講



熊本YMCA英会話と世界のことばのオンライン英会話レッスンが7月に開講しました。英語にふれたいけど、その機会がない、忙しくて英会話スクールに通う時間がない、そのような皆さんにぴったりの講座です。日本での講師経験が豊富な講師が担当するので安心して受講できます。

受講時間 30分/1回 対 高校生以上

受講料 お試し体験/12,000円(3回)

10回コース/40,000円、20回コース/80,000円

☎ 本館／グローバルコミュニティセンター Tel 096-353-6391(音声ガイダンス「1」)

詳細・申し込みはWebで▶

英語
×
オンライン



日 日時 場 会場 内 内容 費 参加費 定 定員 条 参加条件 持 持ち物 対 対象 催 主催 締 締切 申 申込 問 問合せ 他 その他

R | E | P | O | R | T

水上安全

子どもたちのいのちを守る ウォーターセーフティー



ながみねファミリーセンター 兼瀬稔宜

YMCAは水難事故が多発する夏の季節を前に、子どもたちを水の事故から守るための「ウォーターセーフティーキャンペーン」を展開しています。熊本YMCAの水泳教室では30年以上にわたり「着衣泳体験」を行い、1995年からは学校、幼稚園などの諸団体へ講師を派遣。毎年延べ2,000名を超える子どもたちを対象に水上安全講習会を実施しています。

また、6月に「みんな泳げる25m運動」と題し、水泳に苦手意識のある近隣小学校の児童延べ150名をYMCAのプールへ招待して特別水泳プログラムを実施しました。最初は顔つけやもぐることので精一杯だった子どもたちが綺麗な姿勢での浮き身や泳ぎにチャレンジしました。参加した子どもたちや保護者からは「リーダー！向こうまで泳げるようになったよ」「まさかこんなに泳げるようになるなんて驚きました」など、嬉しい声が聞かれました。



専門学校

建築を学ぶ学生ら 阿蘇でワークキャンプ



熊本YMCA学院 吉田美華

熊本YMCA学院は、阿蘇に研修施設を持ち、5学科それぞれがキャンプを通して仲間づくりや自然体験、そして協力することなどを体験学習しています。

建築科は、学科の特性を活用し、建築ワークキャンプを行っています。下見をして修繕箇所や作業工程、必要な道具や材料も学生が調べて計画を立てます。今年は6月に1年、2年がそれぞれにキャンプを

行い、イス、収納可能なテーブル、子どもの積み木材、生ゴミから堆肥を作るコンポスト容器などの作成と秘密基地小屋づくり、屋根の補修をしました。

コンポストづくりでは工夫したこととして「形が崩れないよう間柱を設ける」、大変だったのは「穴掘りと板がずれないように組み立てること」と班長の下森迅さん談。問題が生じても自発的に解決しようとする学生や、長時間集中力を切らさず作業を継続する学生の姿に頼もしさを感じました。様々な現場体験をできるのもYMCAだからこそです。



キャンプ

盲学校の子どもたちが参加 ポニーキャンプ



YMCA熊本五福幼稚園 石屋良輔

48回目を迎えるポニーキャンプを熊本ワイズメンズクラブとの共催で開催しました。視覚に障がいのある子どもたちに新しいことに挑戦してもらい、自信に繋げることなどが目的。7月30日(火)～31日(水)の日程で、今年は水俣湯の児海水浴場と熊本県立あしきた青少年の家を会場としました。熊本県立盲学校から5名の児童が参加し、1日目は水俣でボートに立ったままパドルを使って水上

を移動するスポーツ「SUP」に挑戦。子どもたちは海の上に浮いた感覚を不思議に感じていたようです。

2日目はペロン船に乗り、一人ひとりが一生懸命に漕いでいました。熊本YMCA学院の学生や大学生らユースリーダーが参加者をサポート。楽しむ中にも安全面をしっかりと考慮していく必要があり、良い緊張感を持っているようでした。

暑い中での活動でしたが、何に対しても意欲的な子どもたちの姿に、周りの大人が元気や勇気をもらえるようなキャンプでした。



COM-PASSION II

おもいやりとやさしさ Vol.30

総主事 光永 尚生



違和感の先にある本質に気づく力

私たちが神様から与えられた様々な賜物の中で、核心をついているものは直感力、第六感ではないかと思えます。最近のテレビ報道などで政治家、首長の皆さんから発せられる言葉の中にも「違和感」を感じるものが多々あるようです。後に、その違和感が何であったかを知る時、

私たちは物事の本質に気づくことがあります。

人生には、「本質」を知るためのヒントとチャンスがたくさん与えられています。そのひとつが、聖書の「御言葉」ではないでしょうか。毎日「聖書の言葉」の日めくりカレンダーを見ていると、その日の出来事とリンクする言葉に出会います。いつも、偶然には思えないくらい、的を射ています。それがなぜなのか。答えは出ていませんが、本質にたどり着くための「直感的な気づきのヒント」としての言葉であるようです。

つまり、なんとなく見過ごしそうなことには、「違和感」というヒントが隠されていて、その違和感に気づき、正体を見いだせば、物事の本質に近づくというのが、ある種の方程式なのか

もしれません。その方程式を解く鍵となる定理は、私たちの能力、意欲、興味、関心であり、それを駆使して、答えを見いだそうとする際に、本質へのアプローチが動き出すのだと思います。

このように考えると、私たちが直感的に感じる違和感には、ものすごく大切な意味があります。現在、国会で大げさに取り上げられることが発生するたびに、その陰で本当に大切な法律が、ひっそりと成立していることも増えています。私たちは、もっと「平和をつくり出すひとり人」として、違和感を大切に敏感であり続けたいものです。その先の地平に、私たちが求める「平和な世界」への扉があるように想えてなりません。

夏を楽しもう! YMCAサマーキャンプ[前編]

この夏もたくさん子どもたちがキャンプを楽しみました。7月に実施したキャンプの様子を報告します。



本物体験を通した野外教育 通年プログラム

野外活動クラブのご紹介

野外活動クラブはADVENTURE(冒険する気持ち)、FUN(楽しむ)、ACTIVE(活動的に)、FUSION(融合)を全体テーマとし、4クラスに分かれて通年で活動します。

詳細はWebで▶



クラス	対象
ADVENTURE アドベンチャークラス	満4歳～年長
FUN ファンクラス	年長～小学3年生
ACTIVE アクティブクラス	小学2～6年生
FUSION フュージョンクラス	中学生、高校生

常議員会議長・副議長 交代のご報告



熊本YMCAの活動を支える維持会員の代表である常議員の議決機関「常議員会」の議長・副議長が本田節子さん(長)、佐藤通彦さん(副)から佐藤通彦さん(長)、麻生尚哉さん(副)に交代となりました。
任期:2024年6月～2025年5月

議長(写真左)

佐藤 通彦 さん(リソース推進委員・熊本にしワイズメンズクラブ)

副議長(写真右)

麻生 尚哉 さん(みなみグローバルコミュニティセンター運営委員)

わたしと聖句

ヨハネによる福音書 14章6節



天草中央キリスト教会
南圭生

イエスは言われた。「わたしは道であり、真理であり、命である。わたしを知らなければ、だれも父のもとに行くことができない。」

いのちの源

私が聖書と出会ったのは27歳の頃ですが、それまでの私の考えはどれ一つ取っても確信はなく曖昧なものばかりでした。例えば、自分が生まれたのが偶然なのか必然なのか。人生に目的があるのかないのか。死後の世界が存在するのかしないのか。神がほんとにいるのかいないのか。兄の事故死をきっかけにこれらの問題が私の前に立ち、今考えると避け通れない状況に陥り、今考えると間違いなく鬱の状態でした。

これらの問いに納得できる答えを与えてくれる人はいませんでした。毎日悶々とした重苦しい日々が続くのですが、生

活のために働くというよりは動いているだけという感じです。雲一つ無い秋晴れの晴天なのに、今にも大雨が降り出しそうに感じるのは。両肩にのしかかる空気が重く感じます。

それまで聖書の存在は知っていましたが、どんなことが書いてあるかわかりませんでした。妻が持ってきた一冊の聖書によって私の人生は一変しました。そこには私が諦めていたすべての問題に対する答えが記されていました。神が人間を御自身の姿に似せて愛すべき存在として創造されたこと、そして死後の世界が確実に実在すること、その中でも最も私を驚かせたことが、イエスさま自身が創造主なる神であると弟子たちに告白していたことです。これが偽りであればイエス・キリストは世界的大ベテレン師となるわけです。

それ以後イエスがほんとの神なのか、あるいは世界的ベテレン師なのかを明らかにする求道の結果、イエスがベテレン師である証拠を何一つ見出せず「あなたこそ生ける神の子キリスト」と告白し現在に至っています。

発行所/(公財)熊本YMCA
〒860-8739 熊本市中央区段山本町4-1
TEL 096-353-6397代
発行人/光永 尚生 編集人/大塚 永幸
定価60円 購読料は会費に含む

www.kumamoto-ymca.or.jp



Facebook

熊本YMCAの使命

共に生きる社会 生涯学習の推進 ボランティア活動
地球環境の保全 ウエルネス活動 平和な世界

2024年度基本聖句

マタイによる福音書 5章16節
あなたがたの光を人々の前に輝かしなさい。